

平成25年度 第3回

三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進協議会 議事録

1 日 時：平成26年2月20日（木）10：05～12：00

2 場 所：県庁舎6階66会議室

3 出席者数：委員12名、事務局7名

4 報告事項

(1) 平成26年度当初予算案について

(2) 「三重おもいやり駐車場利用証制度」の導入後の状況について

(3) UDアドバイザーアンケートの結果について

(4) その他

- ・ユニバーサルデザインのまちづくりポスターコンクールの結果報告について
- ・次期ユニバーサルデザインのまちづくり推進計画の策定スケジュールについて

(開会行事、事務局からの説明は省略)

(1) 平成26年度当初予算案について

【委員意見】

- ・近鉄桑名駅バリアフリー化の進捗状況については、昨年末から着工し、1月にはエレベーター工事をしている。エレベーターは平成26年度供用開始予定。また、伊勢若松駅は平成26年度は設計のみで、着工は平成27年度以降。
- ・バスのバリアフリー化については、国の予算を使いながら徐々に進める。

(2) 「三重おもいやり駐車場利用証制度」の導入後の状況について

【委員意見】

- ・利用証は、身体障害者手帳をお持ちの方や要介護高齢者の方は確実に持っているのか。
→(事務局回答)手帳等をお持ちの方すべてにお渡しするということではなく、あくまで歩行が困難な方にお渡しするものであり、申請主義をとっている。
- ・身体障がい者協会を通じて、利用証をお持ちでない方に渡す方法はどうか。
→(事務局回答)協会に加入されている方は、制度のことはよくご存知だが、未加入の方が制度をご存じないことがあるので、広く啓発することが大事である。
- ・区画をもっと増やしてほしい。
→(事務局回答)事業者と意見交換等をしながら、区画を増やす努力をしていく。
- ・金融機関の導入状況はどうか。

→（事務局回答）郵便局への設置要望が多いものと思われるが、事業所の組織が大きいと話が進めにくい状況になっている。

- ・愛知県でも導入されればと思う。
- ・妊産婦で利用証をお持ちの方が多いうように思う。
- ・利用証は本当に必要な方に使ってほしい。
- ・区画を増やすことも大事だが、子どもたちに制度を知ってもらうことが大切。
- ・申請者が増えると駐車区画が減るため、啓発をしっかりとしないといけない。

（３）UDアドバイザーアンケートの結果について

・若い世代の意識付け、関心をもっといただくようなものを考えないといけない。

- ・UDの成果は数字では見えにくいいため、広がりにくいのではないか。
- ・市町の介護ボランティアポイント制度とUDアドバイザーの活動とリンクできないか。

→（事務局回答）介護事業は市町の事業のため、連携はできない。

- ・県だけでなく、学生も巻き込んで啓発をすることも必要だと思う。

（４）その他

- ・免許更新講習時におもいやり駐車場の啓発はしているのか。

→（事務局回答）制度の導入にあたり、免許センターに対して免許更新時におもいやり駐車場の話をしてもらえよう依頼している。

以上